

美の力によるエンパワーメント

資生堂は、「自分らしくありたい」という願いを化粧の力で支援しています。

深い肌悩みにお応えする「資生堂 ライフクオリティーメイクアップ」

60年以上の実績を持つ「資生堂 ライフクオリティーメイクアップ」は、現在では4つの国と地域で「資生堂 ライフクオリティービューティーセンター」を拠点に展開しています※1。

資生堂 ライフクオリティービューティーセンター（日本）では、新型コロナウイルス感染防止の観点から、2021年7月より、オンラインによる外見ケアカウンセリングを開始しました。また、中国でもオンラインカウンセリングを2020年からスタートし、2021年は2,658名に実施しました。



オンラインによる外見ケアカウンセリング

2021年10月に全日本病院出版会から医療従事者向けに上梓された医学書「目もとの上手なエイジングー眼瞼下垂から非手術的美容医療、エイジング世代のメイクアップまで」の1章で資生堂の美容技術者（ライフクオリティーメイクアップコンサルタント）が術後の腫れや内出血を目立たなくするカバー方法を解説しました。

中国では、2021年10月に「中国非公立医療皮膚専門委員会第5回学術会」※2に参加。この活動の理念を医療従事者に発表しました。また、医師向け講座を11回実施し、380名の医師が参加しました。

アジアパシフィック地域本社は、「資生堂 ライフクオリティービューティーセンター」をはじめとするサステナビリティへの取り組みにより「模範的な社会貢献活動を行い、関係者の協力を得ながら活動を広げている組織」として「Champions of Good」※3を2020年に受賞しました。

※1 中国、日本、シンガポール、台湾（2021年12月時点）

※2 2015年12月に設立。国家衛生健康委員会批准、国家民政部所属協会

※3 シンガポールで2017年に創設された「Company of Good」による表彰

「資生堂 ライフクオリティーメイクアップ」の専用商品「パーフェクトカバー」

1995年、「資生堂 ライフクオリティーメイクアップ」の専用商品として、光の技術を応用し、青あざ（太田母斑）・赤あざ（血管腫）・濃いシミなどをカバーする「パーフェクトカバー」を発売しました。その後、傷跡などの凹凸、白斑など、幅広く深い肌悩みに対応できる商品に改良されました。

2022年3月、がん治療の副作用による外見上の変化（強いくすみや色素沈着など）へのカバー機能を強化しながら※1、リニューアルしました※2。安全性に配慮するとともに、より使いやすく、自然な仕上がり感を実現しました。主力商品の「パーフェクトカバー ファンデーション MC」は、なめらかな感触で肌へフィットし、あらゆる色悩みや凹凸のカバーに対応。発売前のモニターテスト※3では、100%※4が「色のカバー力に優れている」「肌へのフィット感がある」、96%※4が「肌悩みをカバーしながら自然に仕上がる」「今後も継続して使用したい」と高い評価をいただきました。

※1 パーフェクトカバー ファンデーションMC

※2 新パーフェクトカバーシリーズ全品

※3 資生堂調べ。肌悩み（色・凹凸）を持つ方を対象とした2週間連用テスト N=24名（2021年2～3月）



深い肌悩みに対応する資生堂 ライフクオリティー メイクアップ



リニューアルしたパーフェクトカバー商品（2022年発売）

がんとの共生を目指したがんサバイバーへの支援

資生堂は2008年から、がん治療の副作用に関する外見ケアを手がけてきました。2015年にはがん患者の方向けの小冊子を発刊、2019年には女性向け美容情報の小冊子「がん患者さんのためのBeauty Book」へ改訂しました。2020年には男性のために簡単でわかりやすいテクニックや美容情報をまとめた「がん患者さんのための男の整容本」を追加発行しました。2021年には、これらの冊子を日本国内385のがん拠点病院に提供しました。

近年の抗がん剤治療後のアピランスケアへの関心の高まりに対し、2022年2月には、性別問わず外見ケアに関する最新情報をまとめた「外見ケア BOOK ～自分らしく、心地よく。～」※1を発行しました。



「外見ケア BOOK ～自分らしく、心地よく。～」

また、公益財団法人 日本対がん協会のがんサバイバー・クラブによる男性向けの外見ケア動画の制作にあたり、眉メイク、顔色メイク、頭髮ケア、肌ケア、唇ケア、手指ケアの簡単でわかりやすいテクニックを紹介しました。

資生堂美容室では、2020年、頭のサイズや髪の状態に合わせてカスタマイズできるオリジナルの医療用ウィッグを発売。ソーシャルビューティーケア アドバイザー※2がカウンセリングを行い、髪と頭皮のトータルケアを通じて、お客さまが心地よく毎日を過ごせるようにサポートしています。

2021年、スペインでは、がん患者支援団体「Spanish Association Against Cancer」と連携し、オンラインでの外見ケアコースを12都市で実施し、187名のがん患者の方々が参加しました。また、イタリアでも、がん患者支援団体「La Forza e il Sorriso」と連携し、メイクアップ講座を実施するなど海外への展開を広げています。

※1 資生堂 ライフクオリティー メイクアップのウェブサイトにおいても公開

※2 ソーシャルビューティーケア アドバイザー：資生堂美容室株式会社所属する美容師から選出され、オリジナルの教育カリキュラムの習得と審査に合格した者に認定される社内資格



公益社団法人 日本対がん協会における外見ケア動画の撮影の様子



「Spanish Association Against Cancer」と連携したオンラインによる外見ケアコース

がんになっても笑顔でいられる社会を目指す「LAVENDER RING」への参画

2017年から、がんになっても笑顔で過ごせる社会を目指す、をテーマに、がんサバイバーを支援する

「」に参画しています。このなかで、資生堂は「」を主導し、ヘアメイクとポートレート撮影を通して、がんになっても自分らしく生きていけるよう、社会への復帰の一助となるように後押しをしています。

2021年8月、「LAVENDER RING」は前年に続き、オンラインで開催。社員ボランティア14名が、日本全国のがんサバイバー57名の方々に、個別にメイクアップレッスンを実施しました。また、治療による髪の外見変化に対するサポート「ヘアドネーション」を取り上げたトークショーを実施。「ヘアドネーション」がつくる社会の絆を語りました。

同年9月には、小児がんサバイバーのための「MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES」を実施。8名の小児がんサバイバーが参加しました。この取り組みは、2021年11月に公益社団法人 企業メセナ協議会からメセナ優秀賞を受賞しました。

また、2021年2月4日世界がんデーに、LAVENDER RINGフォトブック「自分らしく、生きていく。」(ハースト婦人画報社出版)を発売し、書店をはじめ、病院内の売店などで販売しました。がんサバイバー206名のポスターやエピソードは、がんサバイバーご本人やそのご家族、サポーターの方々はもちろん一般の読者からも、「勇気や気づきを与えてくれた」「がんは誰にでも起こり得る身近なものだと感じられた」など多くの反響が寄せられました。



メセナ優秀賞 受賞



オンライン「MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES」参加者



「自分らしく、を生きていく。」(ハースト婦人画報社出版)

地域でのサポート体制づくりを目指したりテールパートナーとの協働

日本では、厚生労働省の指針により地域で住民の健康増進に資する取り組みが強化され、がんサバイバーや高齢者の方々が地域でサポートする体制づくりが進められています。資生堂は対象の方々に適した専用の美容コンテンツを提供しています。2020年11月に、スギ薬局伏見店（愛知県）において、パーフェクトカバーシリーズの導入に伴い専用プライベートルームを開設、がんサバイバー向け外見ケアサービスを地域で受けられる場を設けました。2021年12月末のパーフェクトカバー取扱店は432店舗で、今後も導入店の拡大を推進していきます。また、高齢の方々のための資生堂化粧療法^{※1}の研究知見を取り入れた「化粧健康法プログラム」を全粧協加盟^{※2}の化粧品専門店459店が導入し^{※3}、身近な場所で美容を通して健康を実現する機会づくりを始めています。

※1 資生堂化粧療法：化粧行為を通じて心身機能やQOL（クオリティー・オブ・ライフ＝生活の質）の維持向上など健康寿命の延伸をめざす療法

※2 全粧協：全国化粧品小売協同組合連合会

※3 2021年12月時点



専用プライベートルーム（スギ薬局伏見店）



専用プライベートルーム（スギ薬局伏見店）

高齢の方に対する取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、高齢の方々に対するさまざまな活動を自粛してきましたが、2021年4月より化粧品専門店の店頭で開催する「美容で健康サロン※1」、オンラインでも開催可能な「心身リフレッシュ教室※2」を新たに企画し、資生堂ビューティーセラピスト※3がそれぞれ実施しました。「いきいき美容教室※4」も11月より再開し、ご高齢の方々のQOL向上を目指して、元気と笑顔をお届けしました。



リモートいきいき美容教室（千葉県白子町）

また、千葉県白子町役場と連携し、白子町健康づくりセンターと資生堂ジャパン株式会社 浜松町オフィスをオンラインでつなぎ、地元にお住まいの高齢の方々15名を対象にしたオンラインでの「いきいき美容教室（1回5名×3回）」を開催しました。この活動では、参加された高齢者の効果検証も行い、自己に対する信頼感・有能感を示す自己効力感の変化が確認され、第2回国際化粧品療法医学会2021で発表しました。

※1 会話を楽しみながら、化粧と健康のつながりや、ご自身できれいになる方法をご案内する店頭でのサロン活動（2021年12月時点で172件実施）

※2 新しい生活様式に合わせ、短時間（約30分）の4つのメニューの中から選び、オンラインでも会場でも、資生堂化粧療法が体験できる美容教室。

※3 2022年より、「資生堂ビューティーセラピスト」から「資生堂ソーシャルエアパートナー」へ呼称変更。

※4 当社スタッフが訪問し、高齢者の方ご自身が顔や手のお手入れ・化粧を簡単に楽しみながら、きれいになれるセミナー。

障がいのある方への取り組み

1980年代、資生堂は点字版美容テキスト、商品識別点字・墨字シール、使用量シールといった、視覚に障がいのある方をサポートするための美容教材の開発を始めました。資生堂企業情報サイトの「」では、音声読み上げソフトを活用して化粧品の使い方の説明や、音声でも楽しめる季刊美容情報「」を掲載しています。

2019年に資生堂が開発した、視覚に障がいのある方が自身で簡単にメイクができる「ガイドメイク」は、直接肌に触れて化粧方法をガイドするため、コロナ禍においては活動を自粛していましたが、2021年は、視覚障がい者団体の方々のご協力を得て、ご自身で実践できるスキンケア方法をメインとしたオンライン美容セミナーを開催しました。コロナ禍のお悩みをヒアリングしたうえで、少人数で参加いただき、資生堂ビュー



ティーセラピストが画面上で参加者の顔や動きを確認しながら、動作を細かく言葉で伝えて進行しました。

ガイドメイク

また、同年、一般社団法人 日本視覚障がい者美容協会とのコラボメイクイベントを3回開催しました。視覚に障がいのある方3名に対して、美容師の資格をもつ資生堂 ライフクオリティー メイクアップコンサルタントがガイドメイクを伝えながら、ヘアメイク方法やヘアアレンジなどをレクチャーし、12月に開催された最終回では、資生堂メイクアップアーティストが、クリスマスシーズンにあったメイクテクニック&ヘアメイクのトータルコーディネートを紹介しました。これらの取り組みは音声ラジオアプリVoicyで生放送され、約700名のリスナーが集まりました。

施設や里親のもとで暮らす子どもたちの自立・進学支援

公益財団法人 資生堂子ども財団は、社会的養護を必要とする子どもたちへの支援などさまざまな事業活動を行っています。

2005年からは「自立支援事業」として18歳で社会に出て一人立ちする高校3年生を対象に、資生堂ジャパン株式会社、株式会社AOKI、株式会社リクルートなどの企業・団体と協働して、身だしなみ講座をはじめとする社会人として必要なスキル習得のためのセミナーを開催しています。また、高等教育への進学を支援する「奨学金事業」や、児童福祉施設職員向けの研修、情報誌発行なども行い、未来を担う子どもたちが誰ひとり取り残されることなく、自立して活躍することができる社会の実現を目指しています。



身だしなみ講座

公益財団法人 資生堂子ども財団の活動はこちら

対象者別のセミナー（資生堂 ライフクオリティー ビューティーセミナー）の詳細はこちら